

■田中光顕 維新前後に裏方で活躍、宮中に一大勢力確立も疑獄事件で引退、志士の遺品蒐集で、多摩聖蹟記念館が実現した。

たなかみつあき

順天堂始・・・1843＝ 土佐国高岡郡佐川村で、土佐藩の国老深尾家の軽格の郷士の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 2歳：

万次郎帰国・1852＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝10歳：

高知に出て武市瑞山に学び、

桜田門外変・1860＝17歳：

遣欧使節・・・1861＝18歳：

生麦事件・・・1862＝19歳：

8月18日政変 1863＝20歳：

禁門の変・・・1864＝21歳：

薩摩藩士密航1865＝22歳：

薩長同盟・・・1866＝23歳：

大政奉還・・・1867＝24歳：

明治維新・・・1868＝25歳：

戊辰戦争終・・・1869＝26歳：

初の日刊新聞1870＝27歳：

廃藩置県・・・1871＝28歳：

勤王党に加わり、上洛して諸藩の志士と交遊。帰郷後、勤王党弾圧にあい、蟄居・謹慎を命ぜられたが、長州藩の尊王倒幕運動を援助するため脱藩。

大橋慎三からの連絡で、京都に戻り、中岡慎太郎らとともに薩長連合の成立に尽力、第二次長州征討では幕府軍と戦い、竜馬・慎太郎が暗殺された現場にかけつけ、遺志継ぎ陸援隊を統率。

鳥羽・伏見の戦では錦旗を下賜されて、幕府側を牽制する役を務め、

新政府に出仕し、兵庫県権判事となり、

「国是綱目」提出に加わる。会計監督司知事・大蔵少丞・戸籍頭などを経て、

理事官として岩倉使節団に加わり、欧米諸国を視察、使節団の会計をつとめ、

明治6年政変 1873＝30歳：

佐賀の乱・・・1874＝31歳：

帰国後、

陸軍会計監督、

三つの反乱・1876＝33歳：

西南戦争・・・1877＝34歳：

旧主深尾家の長女を娶り、維新前には考えられなかったことも実現。

西南戦争では、征討軍会計部長として兵帖事務を統括。

戦後、陸軍省に入るも、武職に就くことなく、

琉球処分・・・1879＝36歳：

明治14年政変1881＝38歳：

陸軍少将。

陸軍省会計局長・参事院議員・恩給局長官などを歴任。

内閣発足・・・1885＝42歳：

*内閣書記官長に就任、ついで在職のまま元老院議員に任ぜられ、伊藤博文・山県有朋らの知遇を受ける。

国民之友始・1887＝44歳：

初の対等条約1888＝45歳：

帝国憲法発布1889＝46歳：

子爵授与。警視總監となる。

帝国議会開設に際して、子爵団から貴族院議員に選出されたが、

警視總監とともに辞任。

田中正造直訴1901＝48歳：

教科書疑獄・1902＝49歳：

宮中顧問官となり、帝室会計審査局長を兼務、

学習院長兼務に変わり、

日清戦争始・1894＝51歳：

日清戦争終・1895＝52歳：

宮内次官、

八幡製鉄始・1897＝54歳：

子規句歌革新1898＝55歳：

宮内省図書頭を経て、*第3次伊藤内閣で、宮内大臣に就任。

以来、天皇の側近に仕え、宮中政治家として大きな勢力を確立するとともに、日本歴史に造詣深く、正倉院宝物や京都御所内の東山御文庫の典籍などの調査・研究の途を、学者に開いたが、

日露戦争終・1905＝62歳：

満鉄発足・・・1906＝63歳：

韓国反日暴動1907＝64歳：

伊藤博文暗殺1909＝66歳：

伯爵に陞爵。西本願寺法主大谷光瑞の須摩別邸を皇室の離宮(武庫離宮)として買い上げたことから西本願寺疑獄事件との関連を噂されて、世の非難を浴び、

*宮内大臣を辞任し、以後、政治の表舞台からは引退。

明治天皇没・1912＝69歳：

21ヶ条要求・1915＝72歳：

本格政党内閣1918＝75歳：

翌年にかけて臨時帝室編修局総裁をつとめた。

原敬首相暗殺1921＝78歳：

長年にわたって明治維新の志士の遺墨などの蒐集につとめ、

護憲三派圧勝1924＝81歳：

治安維持法・1925＝82歳：

世界恐慌・・・1929＝86歳：

海軍軍縮条約1930＝87歳：

第二次大戦始1939＝96歳：

「この人どんな人」、インターネット、

青山文庫(高知県高岡郡佐川町)開館、

常陽明治記念館(茨城県大洗`幕末と明治の博物館`)創立、

*多摩聖蹟記念館(現東京都多摩市桜ヶ丘公園)設立などの設立に尽力し、伊藤博文や山県有朋の田中宛書簡合計四百数十通を中心とする「田中光顕文書」はじめ、遺墨・遺品を寄贈して一般に公開して、

没した。